

単元名

「ふるさと廿日市の企業をプレゼンしよう」

【関連のあるSDGsの目標】



【単元の目標】

「廿日市市とつながりのある企業や商店について情報収集し、発表（企業をPR）することで、情報活用能力や表現力を育成する。」

【連携諸機関・人物】

・廿日市市とつながりのある企業や商店

◆学習活動の実際（全29時間）

学習活動	他教科等との関連
<p>〈ふるさと廿日市と繋がりのある企業について知ろう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 廿日市市にある企業や商店，廿日市市の名産と繋がりのある企業や商店について知り，PRする企業を決定する。 <p>〈PRする企業について情報収集しよう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネット等を活用して企業の情報収集を行う。 調べた情報の中でPRしたい内容を精選し，情報を整理する。 <p>〈調べた企業の壁新聞を制作し，発表しよう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> グループで調べた企業のPRしたい内容を壁新聞にまとめる。  <ul style="list-style-type: none"> 新聞発表（企業PR）を行う。 <p>〈プレゼンテーションソフトを使って発表資料を制作しよう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向けてさらに探究するために，企業への質問内容，方法を考える。（企業への訪問・電話による質問・メールによる質問） 質問へ向けてのマナー学習。 企業への質問。  <ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションソフトを活用しての資料制作。 <p>〈企業PRを他学年にプレゼンしよう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表準備，リハーサル 企業PRのプレゼンテーション。今回は，クラス発表，同学年への発表，下級生への発表の3段階に分けて実施。 	<p>【国語】「案内や報告の文章を書こう」の単元の，読者を引きつけるような内容を織り込むことや文章やメモから必要な情報を選び，掲載媒体の形式に応じてわかりやすい構成でまとめる学習内容を「新聞制作」に関連付けた。</p> <p>【国語】話し方，敬語の学習内容をマナー学習に関連付けた。</p> <p>【技術】メディアの統合方法や情報機器の操作をプレゼン資料制作に関連付けた。</p> <p>【国語】「説得力のある提案をしよう—プレゼンテーション」の内容を発表に関連付けた。</p>



〈振り返り〉

- ・お世話になった企業へ礼状を書く。
- ・発表のまとめと振り返りを行い、自己の資質・能力を高めることに繋がったか確認する。

【国語】「依頼状やお礼状を書く」の内容を礼状作成に関連付けた。

【児童生徒の感想・振り返り】

- ・地元の企業が現在まで成長してきた努力や苦労が分かりました。企業の精神などを見習って自分も明確な目標を持っていこうと思いました。
- ・「分かりやすくまとめる」ということがあまりできなかつたので、これからは、分かりやすくまとめる・見やすくするという意識を意識していきたいです。
- ・私はチチャスを調べて、学校の給食とのつながりも分かつたので毎日感謝して飲もうと思った。班でプレゼンテーションをするのに一人一人役割を持つてできた。
- ・普段何気なく食べているものは、誰かが自分達のために作ってくださっていることを知り、感謝して食べるべきだなと思いました。私は将来、食べ物を作ったりする仕事には就かないと思っていたけどお客さんのために一生懸命作る仕事はカッコよくて、そういう企業が廿日市にはあるので就けたらいいなと思いました。
- ・もみじ饅頭の企業を調べ、宮島では簡単に作っているように見えたもみじ饅頭がその企業特有の工夫点があり、どこの企業もそれぞれで工夫点が違うから味に違いが出ていると分かりました。
- ・企業の人の話を聞き、何年もかけて考えたことが一瞬でダメになることもあって、自分だったら嫌になることも「思い」があつて仕事に取り組んでいるのはとてもカッコいいと思ったし、自分もそうなりたと思いました。改めてもみじ饅頭の美味しさを感じ、前よりも味わつて食べるようになりました。また、調べて分かつた発見を家族の人にも伝えました。
- ・宮島杓子の企業を調べて、昔からの伝統の良さを学べた。仕事について語ってもらい、その仕事の良さを知れ、とても楽しかつた。
- ・けん玉を製作している企業を調べ、普段は深く考えることのない企業の細かい工程や気をつけていることなどを知ることができて良かつた。

【効果のあつた「授業展開」または「指導の工夫」等について】

- ・情報収集（インターネット→企業への直接質問）や情報整理（壁新聞→プレゼンテーションソフト）の方法を段階を踏みながら進めていく。
- ・発表の回数をできるだけ増やし、発表相手もかえる。

【児童生徒の変容】

- ・課題解決に向けて各自が課題を探究しようという意識が高まつた。
- ・発表を重ねるごとにより良い発表にしようとする意識が生まれ、また表現力も高まつた。

【今後に向けた「改善点】

- ・今年度は、職場体験学習が実施できず代替の内容として実施した。しかし、新型コロナウイルスの影響もあり、企業へ直接訪問しての質問が難しく、ふるさと廿日市の企業の特色や良さを実際に体感することができにくかつた。今後は実際に体験できる内容を入れることで、これからの自己の生き方を考えることに繋げていく。